

自慢の品々でおもてなし

## 田川伊田駅ステイホームマルシェ

7月23日、田川伊田駅平成筑豊鉄道ホームで「ステイホームマルシェ」が催されました。

これは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため運行を休止していた平成筑豊鉄道観光列車「ことこと列車」の運行再開を記念して、株式会社デザインステーションが企画した催し。この日は、黒ダイヤや田川産ピュアパプリカなどの新鮮な野菜のほか、添田里山ブランドのこんにゃくや羊羹、大任町のにんにく球やオリジナルドレッシングなど、田川市郡のさまざまな特産品が並び、訪れた乗客を楽しませました。

同マルシェは、ことこと列車の運行日に合わせて実施を続ける予定で、今後も田川の名産の数々が乗客を迎えます。



▲田川の名産がズラリ。乗客は一つ一つ手に取り選びました



▲ソーシャルディスタンスを保って、1・2・3・4

ラジオ体操で元気な高住町

## ラジオ体操優良団体地方表彰

高住町区では、平成4年から、夏休み期間を利用した朝のラジオ体操で住民の健康増進を図っています。この長年にわたる取り組みが評価され、7月30日に株式会社かんぽ生命保険から「ラジオ体操優良団体地方表彰」を受けました。この表彰は、同社とNHK、NPO法人ラジオ体操連盟が主催しており、ラジオ体操の普及に尽力した団体・個人が対象です。本年度は全国で43団体・24人が表彰されました。

表彰の当日も、高住町区では早朝の7時からラジオ体操が行われ、約30人の住民が参加。あいさつを交わし、体操したり会話したりしながら、地域で暮らす子どもと大人がコミュニケーションを深めました。

オールTAGAWA見守り大作戦

## 田川の企業などが防犯カメラ設置

田川警察署では、地域の防犯や見守りを推進するため、行政や企業、学校・地域などと連携した「オールTAGAWA見守り大作戦」に取り組んでいます。この一環として、昨年8月に福岡県立大学の学生と西田川高等学校の生徒が協力し、高校周辺の「地域安全マップ」を作成しました。同マップをもとに田川警察署が防犯カメラ設置を推進。5つの企業や団体などが設置に協力し、本年3月までに後藤寺地区の5か所に防犯カメラが設置されました。

7月30日には、田川青少年文化ホールで防犯カメラ設置協力者への感謝状贈呈式を開催。協力者やマップ作成に携わった学生たちが出席し、防犯への思いを新たにしました。



▲企業や学生の代表者が勢ぞろい。協力して地域を見守ります